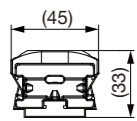
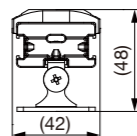


●ハニカムルーバー PGRHB(H)-HLVR

- ・固定ホルダ
 - ・角度調整ホルダ
- との組み合わせが可能です。

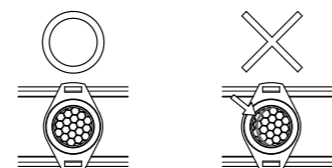
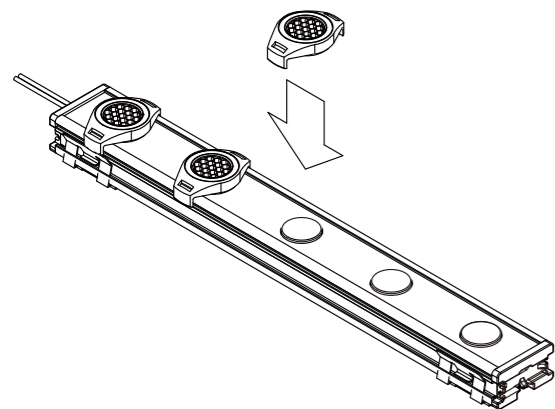


ハニカムルーバー+固定ホルダ



ハニカムルーバー+角度調整ホルダ

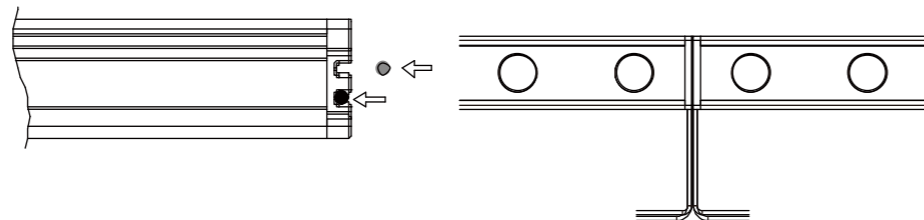
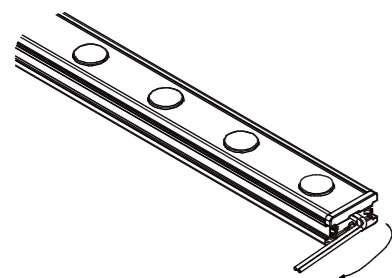
- ・取り付け方
レンズとハニカムルーバーの中心が合うように上からはめ込んでいきます。



レンズとハニカムルーバーの中心をしっかりと合わせて取り付けてください。ずれた状態で取付けてしまうと破損、脱落のおそれがあります。

●シームレスに施工する

グラディHBは突き合わせて施工することができます。左右および下方向に電線を取り出すことができます。エンドプレートに電線が入る凹みがありますので、電線を入れて下さい。灯具同士を突き合わせる際、電線が挟み込まれないように注意してください。



○商品のお取り扱いに関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。

製造元

トキ・コーポレーション株式会社

〒143-0006 東京都大田区平和島4-1-23 JSプログレ2F

Tel.03-5763-6121 Fax.03-5763-6130

http://www.toki.co.jp/tokistar/

販売元

パナソニック株式会社 ライティング事業部

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口

https://sumai.panasonic.jp/support/

0120-187-441 (フリーダイヤル)

【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く)

携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX)

Help Desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787

Open 9:00-17:30(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

2022.3.23

6/6

TOKISTAR® LIGHTING SYSTEMS

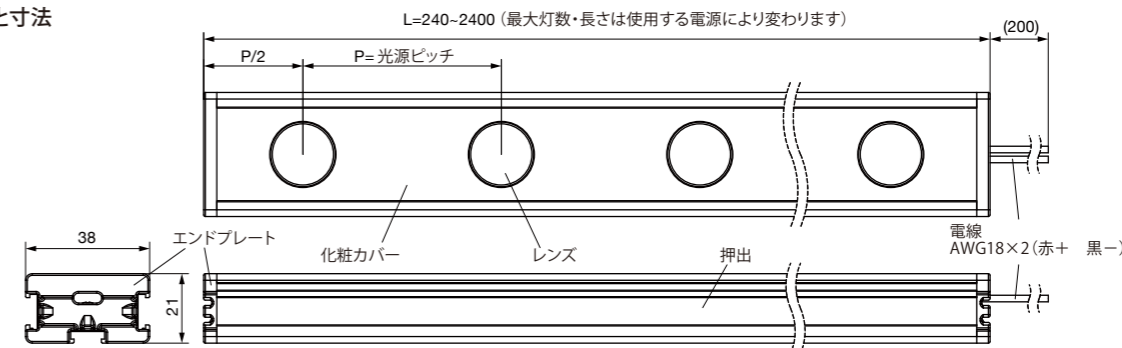
取扱説明書

グラディHB
[屋内専用]

PTSGB/ / /
PTSGBH/ / /

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよく読み正しくお使いください。
なお、本取扱説明書は大切に保管してください。

■各部の名称と寸法



※灯数と適合する電源装置

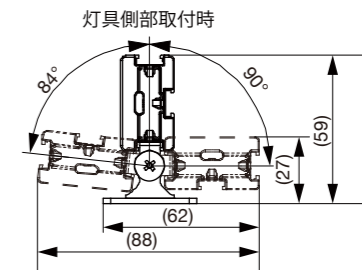
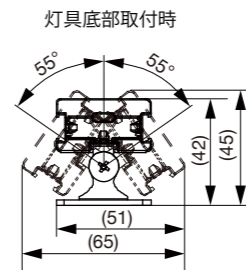
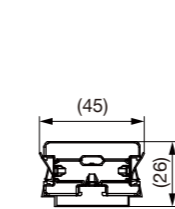
LED灯数	適合電源装置
4～14	PLDCC(H)/33/PWM
15～24	PLDCC(H)/56/PWM

必ず灯具1本に対して電源1台とし、左記の組合せでご使用ください。
左記の組合せ以外では正常に点灯せず、ノイズ発生の原因となります。

ホルダ装着時寸法

固定ホルダ
PGRHB(H)/FIXB

角度調整ホルダ
PGRHB(H)/ADJB



単位:mm

■ご使用になる前に

- ・出荷案内書の記載内容と商品の種類および数量が正しいことをご確認ください。
- ・出荷時には慎重に梱包しておりますが、開封した時に万一製品が破損していた場合はすぐにお知らせください。
- ・配線工事は、必ず工事店又は有資格者に依頼してください。(一般の方の電気工事は法律で禁止されています。)
- ・電源は専用直流電源をご使用ください。
- ・活線工事は絶対におこなわないでください。おこなった場合、一瞬でLEDが破損します。
- ・分解、改造は行わないでください。製品保証対象外となります。
- ・LED製品には、LED素子の性能向上や素子製造時のばらつきにより、個々のLEDで発光色や明るさが異なる場合があります。
- ・機器に高電圧がかかる絶縁測定器等は使用しないでください。故障の原因となります。
- ・照射距離が近い時や照射面の状態によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承ください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳機などの誘導無線をご使用になる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。
- ・ビデオや防犯カメラなどの映像に干渉する場合がありますので、採用にあたっては確認が必要です。
- ・バーコードをご使用の場合、機種によっては光が干渉し読み取りできないことがありますので、採用にあたっては確認が必要です。
- ・特殊ガス(硫化ガスや塩素ガスなど)の発生するおそれのある環境では使用しないでください。早期故障の原因となります。
- ・必ず最大灯数に応じた適合電源装置をご使用ください。誤動作やノイズ発生の原因となります。
- ・雷などの影響により瞬時停電や瞬時降電圧が発生すると消灯する場合があります。その場合、一旦電源スイッチを切ってから再投入すると点灯します。



注意

本灯具は定電流700mA専用灯具です。AC100Vなど定格を超えた電圧がかかると内部素子が損傷し、破損や著しい寿命の短縮、発色の変化などが生じます。配線には十分に注意してください。

指定の電源装置以外との組合せでは使用しないでください。発火発煙の原因となります。

本灯具は一般屋内用器具です。下記のような使用環境、条件下では使用しないでください。

- ・周囲温度が-10℃～35℃の範囲を超える場所
- ・周囲湿度が30～80%RHの範囲を超える、あるいは結露が生じる場所
- ・粉塵が多い場所、振動が多い場所
- ・可燃性ガス、腐食性ガスなどの発生する場所(シーリング材を密閉空間で使用した場合、ガスが発生する場合があります。)
- ・使用する場合は各メーカーまでご確認ください。
- ・浴室など湿気の多い場所

※使用環境に適合するか否かの判断が困難な場合は、お問い合わせください。

製品への塗装は行わないでください。発火発煙の原因となります。

■仕様

定格電流 700mA
消費電力 2.1W / 灯
材質 押出 : アルミニウム (黒アルマイト)
化粧カバー : アルミニウム (黒アルマイト)
レンズ : PC / PMMA (アクリル)
エンドプレート : PC (黒)
重量 約 650~1250g / m (オプションパーツなど組み合わせで変わります)
※オプションパーツは別売となります。

■品名

PTSGB /75/30K/SP
PTSGBH

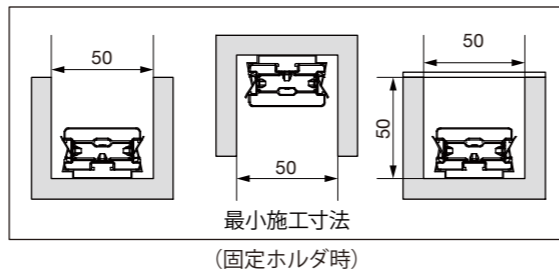
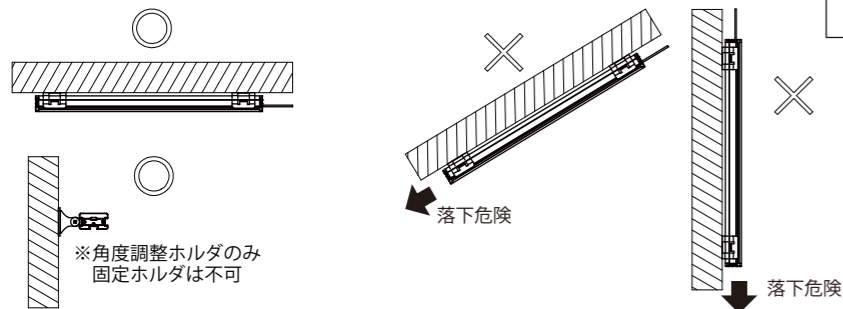
光源ピッチ	光源色	配光
60 : 60mm	27K : 2700ケルビン	SP : スプレッド (40°×15°)
75 : 75mm	30K : 3000ケルビン	M : 15°
100 : 100mm	40K : 4000ケルビン	
	35K : 3500ケルビン	
	受注生産光源色	
	50K : 5000ケルビン	
	65K : 6500ケルビン	

■専用電源

灯具1本あたりの最大灯数は、使用する電源により異なります。
また、灯具1本に対して必ず1台の電源が必要です。
詳しくはP5 ■配線について ●接続可能なLEDの灯数をご覧ください。

■施工について

グラディHBは、オプションにある専用のホルダによって取り付けます。
取り付け前には、取り付けを行う場所の大きさ、強度を確認し、「■配線について」を確認の上、配線用のスペースを確保してから行ってください。
施工の際は、右図の熱による影響から定めた最小施工寸法を必ず確保してください。
実際の施工では、各種オプション取り付け時の灯具寸法や光の効果、メンテナンスを考慮した寸法を確保してください。
取付は水平取付のみとなります。ホルダのみでは傾いた面に取り付けることはできません。



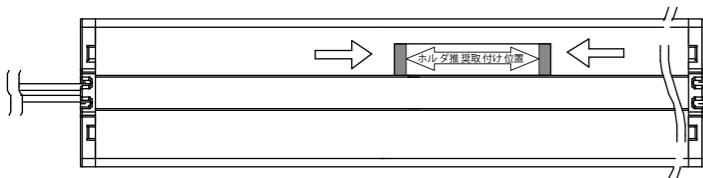
注意

- ホルダのみで垂直取付をおこなうと器具が滑り落ち危険ですのでやめてください。
- 取付けは、十分強度の確保できる箇所に確実に取り付けてください。不十分な取付けは灯具本体の落下の原因になり、大変危険です。
- 石膏ボードや、薄板の天井、壁などに、補強無しで取り付けるとは危険です。必ず、補強材のある箇所か、荷重に耐える補強を行った上で取り付けてください。
- 天井や高所などでは万が一に備え、落下防止対策を施すことを推奨します。
- 灯具から発生する熱を逃がすことのできない場所へ取り付けると、灯具内温度が上昇し、寿命や性能に影響を与えるおそれがあります。
- 照射物までの距離が100mmより短いと、被照射物の変色や変質のおそれがあります。

■取付方法

●固定ホルダの場合

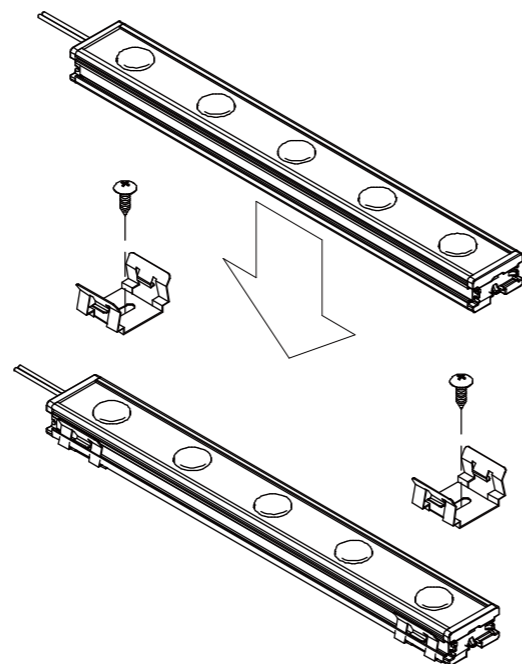
ホルダ推奨取付け位置を示すシールが灯具にあります。
位置に合うように付属のビスで固定ホルダを取り付けてください。
取り付け箇所にホルダをビス止めした後、灯具本体をはめ込みます。
ウォールウォッシャーで使用する場合には、グラディHBの取り付け位置と壁面までの距離によって、効果が大きく変わりますので、あらかじめ点灯して照明効果の確認を行うことを推奨します。
ホルダのビス穴は長穴になっていますので、ある程度の微調整は簡単にできます。



注意

固定ホルダは、必ず灯具長さに適合の個数のものをご使用ください。不備があると灯具落下の原因となります。

灯具長さ	適合固定ホルダ	員数
1500mm以下	PGRHB(H)/FIXB2	2個入り
	PGRHB(H)/ADJB2	2個入り
1500mmを超える	PGRHB(H)/FIXB3	3個入り
	PGRHB(H)/ADJB3	3個入り



■配線について



警告

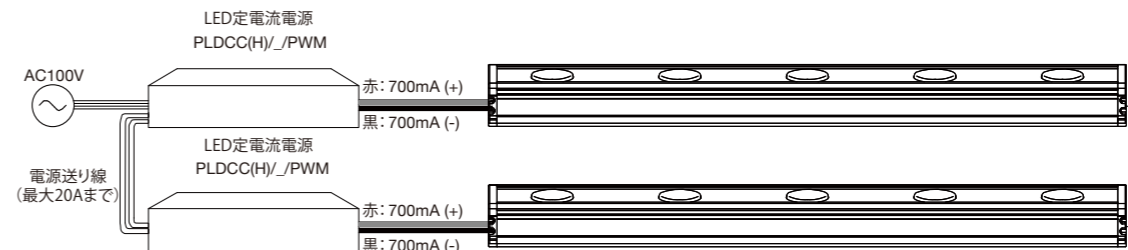
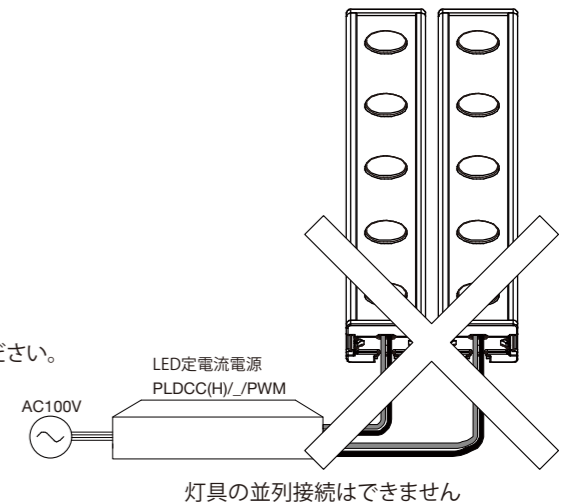
- 活線工事は絶対にしないでください。必ず、電源を切った状態で工事を実施してください。通電状態で結線すると、一瞬でLEDが破損します。
- 電源切断後の再投入は1分以上の時間を空けてください。すぐに器具を接続すると内部に蓄積した電力で器具が破損します。



注意

- 灯具1本に対して必ず1台のLED定電流電源が必要です。1台の定電流電源に灯具を並列接続はできません。
- 電源の容量および接続可能数が足りている場合でも、並列接続はできません。

LED定電流電源の700mA+ (プラス) に赤線、700mA- (マイナス) に黒線を接続してください。接続の際は、必ず電源が切れていることを確認してから接続してください。また、電源から灯具までの距離が遠すぎると正常に点灯しません。「●電源から灯具までの距離」をご確認ください。灯具1本に対して必ず、1台のLED定電流電源が必要になります。必ず、回路および組み合わせを確認し、灯具 (灯数) に合った電源をご使用ください。



●接続可能なLEDの灯数

灯具1本あたりの最大灯数は使用する電源により異なります。

1本あたりの最大灯数	適合電源装置
4~14	PLDCC(H)/33/PWM
15~24	PLDCC(H)/56/PWM

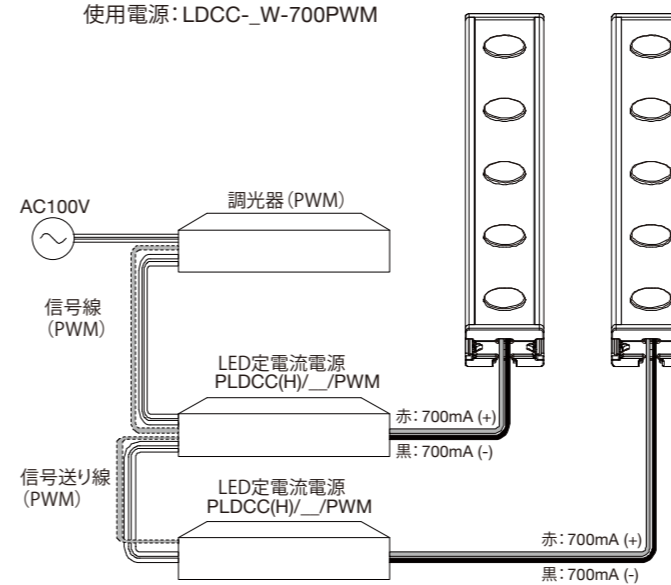
必ず灯具1本に対して電源1台とし、左記の組合せでご使用ください。左記の組合せ以外では正常に点灯せず、ノイズ発生の原因となります。

●電源から灯具までの距離

引き伸ばせる長さは、下表に従ってください。

AWG18	PLDCC(H)/_PWM
0.75sq	100m以内

●市販のPWM調光器を使用する
使用電源: LDCC-_W-700PWM



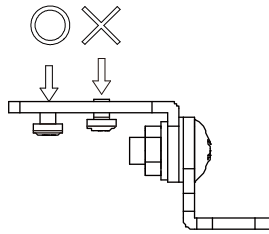
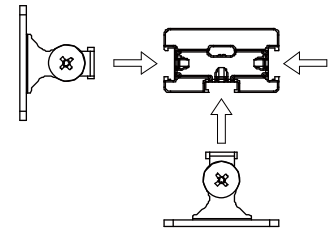
注意

最大接続台数は使用する調光器により異なります。

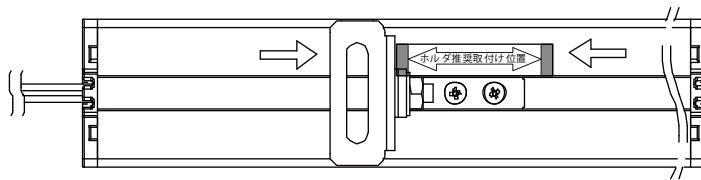
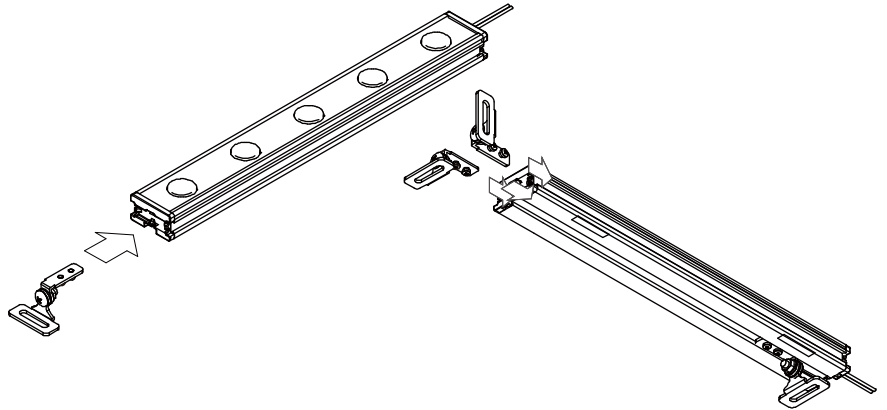
- LED電源の電源入力には調光器の負荷出力に接続してください。詳しくは使用する調光器の取扱説明書をご確認ください。

●角度調整ホルダの場合

- 灯具の3面にTスロットが設けられているので、灯具の底面、側面に取付けが可能です。
- 可動ホルダにM4のネジが2本付いていることをご確認ください。ネジが飛び出ている場合は面をそろえるように調整してください。ネジが飛び出ている状態ではTスロットに差し込めません。
- Tスロットには、灯具末端から差し込んでいきます。
- 長さに応じてホルダ推奨取付け位置を示すシールが貼り付けてあります。ホルダをシールの位置に移動させ、2本のネジで固定してください。

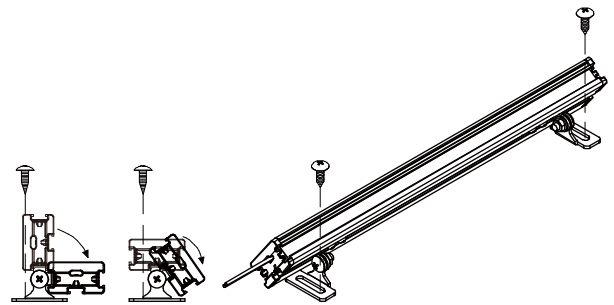


Tスロットには灯具末端から差し込んでください。



シールの位置とホルダのネジ止め部分を合わせます。

- 灯具を設置する際は、ホルダ角度を最大まで振ってから、施工面へビス止めしてください。
- 片側にビス止めをおこなった後、必ず灯具を支えながら、別のホルダのビス止めをおこなってください。灯具を支えずに1箇所のビスだけで保持しようとしますと、灯具やホルダが破損する危険があります。



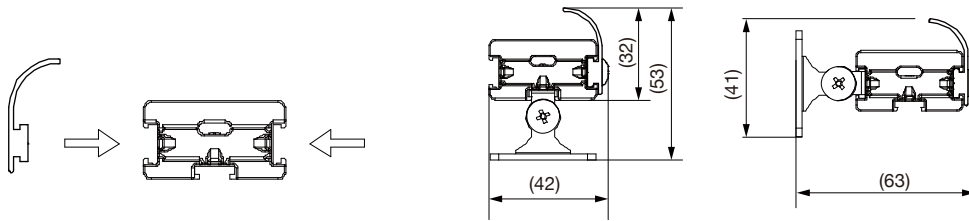
■ホルダとルーバーの組み合わせについて

●グレアカットルーバー PGRHB/GLVR

- ・角度調整ホルダ

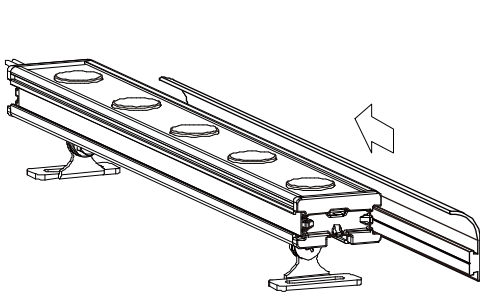
との組み合わせが可能です。

※固定ホルダとの組み合わせはできません。

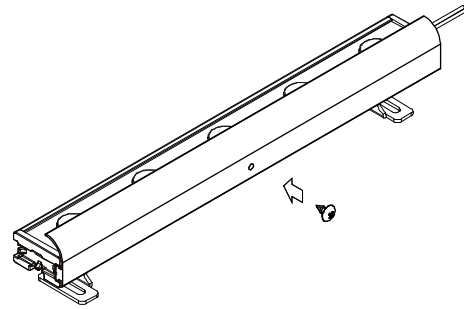


灯具のどちらの側面にも取り付けが可能です。

グレアカットルーバー+角度調整ホルダ



灯具末端のTスロットに差し込んでいきます。

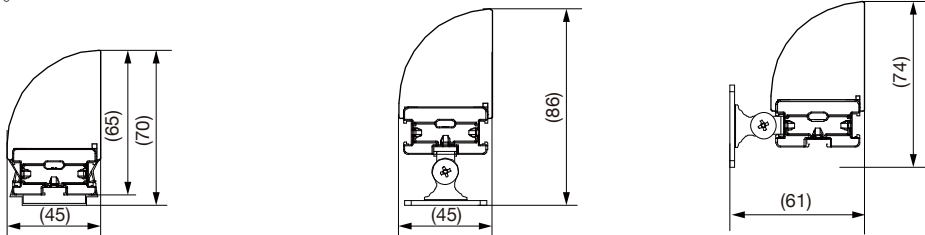


すべて差し込んだらグレアカットルーバーの背面にある穴に付属するビスを利用して固定します。

●平行ルーバー PGRHB/PLVR

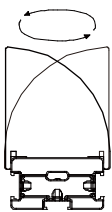
- ・固定ホルダ
- ・角度調整ホルダ

との組み合わせが可能です。

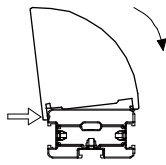


平行ルーバー+固定ホルダ

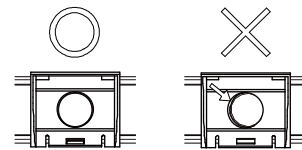
平行ルーバー+角度調整ホルダ



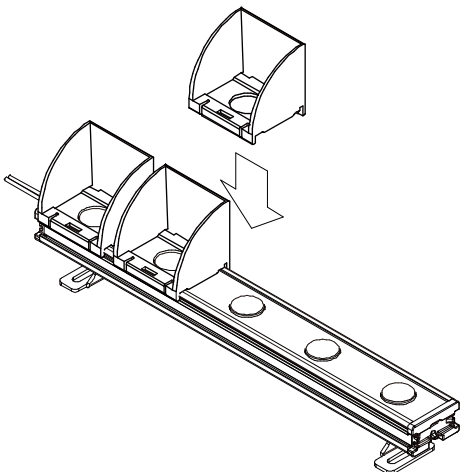
左右どちらでも取り付け可能です。



片側のツメを引っかけた後、もう片方のツメをはめ込みます。



レンズと平行ルーバーの中心が合うように上からはめ込んでいきます。ずれた状態で取り付けてしまうと破損や脱落のおそれがあります。



取り外す場合
背板がない方のスリット穴にマイナスドライバーを差し込み
ツメを浮かせながら取り外します。